

産
業

Industry



持続可能なものづくり

ハレの日や日常の用品、遊びの道具として生活に根づく京都の工芸品。

地域の環境や気候風土が育む素材と、いにしへの技を受け継ぎ

発展を続ける伝統産業の“今”をお伝えします。

Sustainable Manufacturing

Kyoto's traditional crafts are deeply rooted in daily life, have both ceremonial and practical purposes, and also serve as sources of play and enjoyment. Explore the enduring legacy of these traditional industries which continue to evolve, blending ancient techniques with materials produced by the unique local environment and climate.

1 鎧廼舎

YOROINOYA

株式会社佐藤喜代松商店

SATO KIYOMATSU SHOTEN CO., LTD.

有限会社椽

Tsurubami Inc.

京都市産業技術研究所

Kyoto Municipal Institute of Industrial Technology and Culture

合同会社COCOO

COCOO LLC

渡辺祐

YU WATANABE

1 MYCL JAPAN

MYCL Japan Co., Ltd.

川徳商事株式会社

KAWATOKU Shoji co.,ltd.

2 福知山市丹波漆プロジェクト

Fukuchiyama City Tamba Lacquer Project

3 綾部市黒谷和紙協同組合

Ayabe City Kurotani Washi Cooperative Association

綾部市観光協会

Ayabe City Tourism Association

1-1

黎明編・中世編

平安より受け継がれる鎧 大鎧「曙」と稚児鎧「夜明け」 有職御鎧司・明珍阿古作

平安文化が宿る大鎧「曙」

武者たちが駆け抜けた院政期。鎧は戦のためだけでなく、美への衝動を競うための装いでもありました。その美意識と品格を明珍阿古が現代に受け継ぎ、鎧を作り続けています。

祈りを込めた稚児鎧「夜明け」

移ろう自然や子どもたちの成長に美しさを見出してきた日本文化のまなざしは、古来より続く「祝い」や「祈り」の原点とも言えます。稚児鎧「夜明け」には、未来にはばたく世代への「祈り」が込められています。

伝統的な技術と素材による美の結晶

絹糸・植物染料・皮革・金属・漆などの自然素材と、板金師・金工師・染師・組糸師・製皮師・漆塗師・宮師といった職人技。それらが結集した鎧は、細部まで調和の美が宿ります。



鎧廼舎

京都市上京区黒門通一条上る弾正町



1-2

近代編

漆織 トートバッグ

漆を糸に

三桎(みつまた)の和紙に漆を極めて薄く塗布し、裁断して糸にしています。硬い漆を糸にし、織物に用いる技術は、京都西陣の技術です。

高級品に使われる漆糸

西陣織では、高級品に漆糸を使います。金銀箔を押した金銀糸は、金欄(きんらん)、刺繍など特別なものに使われます。

漆の可能性は無限大

糸にすることで漆の用途は大きく広がります。知られざる漆の用途は他にも多くあります。



株式会社佐藤喜代松商店
有限会社椽
京都市北区平野宮西町105

1-3

現代編

紙漆カップ KOMLA

紙と漆で作られたカップ

天然素材の紙と漆だけでできたカップです。硬化させるため、漆の焼き付けという技法で作られています。超軽量で、落としても割れません。家庭用洗剤やスポンジを使ってゴシゴシと洗うことができ、長年にわたって使えます。



株式会社佐藤喜代松商店

京都市産業技術研究所

合同会社COCOO

京都市北区平野宮西町105番地 佐藤喜代松商店内

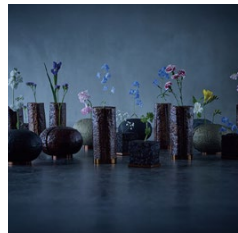
1-4

新・黎明編

漆菌糸体花瓶

漆と菌糸体による表情を生かした花瓶

菌糸体は、きのこの母体である菌糸のスポンジです。この菌糸体を、伝統的な漆の技法で塗ることによって、土や岩、木のような自然な表情が生まれます。花や植物が、まるで土や岩の隙間から生えているように見えるのが魅力です。



株式会社佐藤喜代松商店

渡辺 祐

MYCL JAPAN

京都市北区平野宮西町105番地

© MYCL JAPAN

1-5

新・黎明編

次世代の靴下 Knittabi Urushi

漆の抗菌性が期待できる

漆の木のチップを煮出した染料を使い、草木染めの方法を用いて染めた足袋型靴下です。漆による抗菌性に期待でき、衛生面で安心な次世代靴下です。

夏涼しく冬暖かい

内側に絹、外側に綿を使って編み上げています。「夏は涼しく冬は暖かい」といわれる絹が肌に触れることで、足下を快適に保ちます。

肌にも地球にも優しい

天然繊維を主として編み上げ、天然染料で染め上げた、肌にも地球にも優しい靴下です。



川徳商事株式会社

京都市上京区大宮通今出川上る観世町124

1-6

新・黎明編

漆 × 魔法瓶構造 花瓶とタンブラー

漆魔法瓶の花瓶 Urushi Maho-bin Eternal Vase

漆の抗菌性で、雑菌の繁殖を抑えられ、生けた花が長持ちします。京都西陣の漆屋ならではの色漆によって、今までにない新しい質感の漆を楽しめます。魔法瓶構造なので、夏場にぬるくなるのを防ぎます。



漆魔法瓶タンブラー 百人百色

京都西陣の漆屋の色漆で、漆初心者から職人まで、あらゆるカラーと模様で自在に漆塗りを楽しめます。天然漆ならではの心地よい飲み口です。魔法瓶構造なので、温かい飲み物は温かいまま、冷たい食材は冷たいまま、美味しい温度を長く保ちます。



株式会社佐藤喜代松商店

合同会社COCOO

京都市北区平野宮西町105番地

2

良好な品質と透明感のある丹波漆

伝統工芸を支える日本産漆

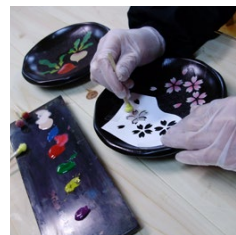
漆掻きはウルシの木から漆液を採取する作業で、漆器づくりや文化財修復には欠かせません。1本の木から得られる漆は年間約200gと非常に貴重で、日本産漆は希少価値が高く、職人の育成が求められています。

陶磁器の修復に適した素材

漆は強い接着力と耐久性、防水性を持つため、古くから陶磁器の修復に使われてきました。特に日本では、割れたり欠けたりした器を漆で継ぎ、金粉をまぶして装飾的に仕上げる「金継ぎ」の技法が発展しました。

「漆染め」という活用法も

漆染めは布や和紙をウルシの木を煮出した染料で染める技法で、抗菌性にも優れ、衣類やインテリア製品への応用が進んでいます。



福知山市丹波漆プロジェクト
福知山市夜久野町平野2199

3-1

手漉きの技を守り継ぐ 京都府無形文化財「黒谷和紙」

丈夫で長持ちする和紙

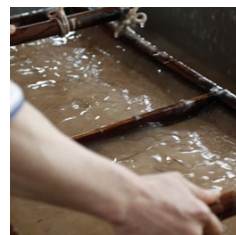
黒谷和紙は良質な楮を主な原材料として作られ、丈夫で強く、長持ちするのが特長です。職人が一枚ずつ丁寧に漉き上げ、用途に応じた厚み、表情に仕上げています。

伝統的な日用品に

強いことから、提灯や和傘、障子、京呉服のたとう紙など、日本の伝統的な日用品に長く使われてきました。現在も時代や生活スタイルに合わせて、様々な和紙や加工品を作り続けています。

文化財の修復にも

長期の保存にも耐えられることから、二条城の襖や国内外の書跡・典籍など、文化財の修復にも重宝されています。全国的に機械化が進むなか、希少な手漉き和紙を育み続けています。



綾部市
黒谷和紙協同組合
綾部市黒谷町東谷3

3-2

紙を布に。

新たな付加価値への挑戦「黒谷綜布」

和紙の糸と絹糸を織る

経糸(たていと)に絹糸を、緯糸(よこいと)に黒谷和紙の紙糸を使い、丹後ちりめんの技で織り上げた紙布です。伝統を生かしつつ、新たな付加価値を生み出す挑戦を続けています。

日常生活に和紙を

紙布は軽くて通気性が良く、和紙の独特の風合いと、織物のしなやかさを備えています。和装や洋装、インテリア、小物など、日常生活のなかで「和紙のある暮らし」が楽しめます。

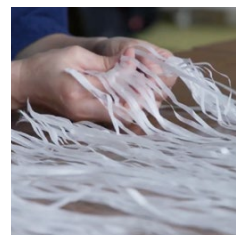
産地を見学してみませんか

黒谷和紙は、京都府綾部市の豊かな自然と清流の中で受け継いできました。紙漉き体験※ができるほか、5、6月は綾部バラ園の1,200本のバラが見ごろです。ぜひ一度、お越しください。※事前予約が必要



綾部市観光協会

綾部市駅前通東石ヶ坪11番地の4



京瓦「キモノタイル」に覆われた 空間デザインと映像・音楽によるノンバーバル表現

オリジナルの京瓦「キモノタイル」によって
質感を統一したミニマルかつ静謐な空間を通じて、
来場者がじっくりと京都の未来と過去に
向き合えるような体験を創出します。
さらに、そこに加わるノンバーバルな映像と音響は、
空間と一体となりながらその多面的な魅力を物語ります。



映像紹介



桑畑

撮影地：京丹後市（京丹後市）
協力者：有限会社三徳



絹ガラス

撮影地：スタジオ
協力者：株式会社 伊と幸



繭玉

撮影地：スタジオ
協力者：丹後織物工業組合



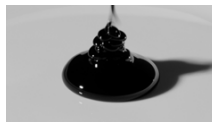
京黒紋付染

撮影地：株式会社京都紋付（京都市中京区）
協力者：株式会社京都紋付



機械織物

撮影地：小嶋織物株式会社（木津川市）
協力者：小嶋織物株式会社



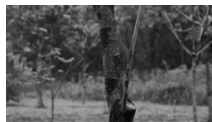
ボタリと落ちる漆

撮影地：スタジオ



藤糸

撮影地：藤織り伝承交流館（宮津市）
協力者：丹後藤織り保存会



漆かき

撮影地：福知山市夜久野町（福知山市）
協力者：NPO法人丹波漆

映像紹介



アフリカンプリント生地

撮影地：スタジオ

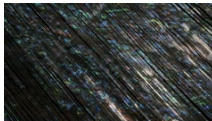
協力者：株式会社AFURIKA DOGS



アフリカドッグス

撮影地：AFRIKA DOGS(京都市下京区)

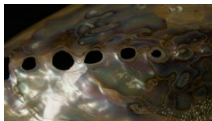
協力者：株式会社AFURIKA DOGS



螺鈿の糸

撮影地：スタジオ

協力者：民谷螺鈿株式会社



貝殻の輝き

撮影地：スタジオ

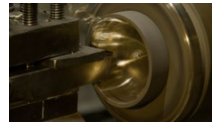
協力者：民谷螺鈿株式会社



京瓦

撮影地：株式会社京瓦 浅田製瓦工場
(京都市伏見区)

協力者：株式会社京瓦 浅田製瓦工場



佐波理おりん

撮影地：有限会社南條工房(宇治市)

協力者：有限会社南條工房



エリカ

撮影地：株式会社国際電気通信基礎技術研究所
深層インタラクション総合研究所
石黒浩特別研究所(京都府相楽郡精華町)

協力者：株式会社国際電気通信基礎技術研究所
深層インタラクション総合研究所
(JST ERATO 石黒共生ヒューマンロボットインタラクションプロジェクト)
(JST ムーンショット型研究開発事業 目標1 アタカー共生社会プロジェクト)



人と機械の融合

撮影地：オムロン コミュニケーションプラザ
(京都市下京区)

協力者：オムロン株式会社

映像紹介



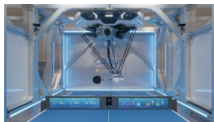
センシング技術

撮影地：オムロン コミュニケーションプラザ
（京都市下京区）
協力者：オムロン株式会社



温室効果ガスを資源に変える 微生物培養システム

撮影地：Symbiobe 株式会社
（京都市西京区）
協力者：Symbiobe 株式会社



卓球ロボット

「フォルフェウス(FORPHEUS)」

撮影地：オムロン コミュニケーションプラザ
（京都市下京区）
協力者：オムロン株式会社



X線発生装置

撮影地：島津製作所 創業記念資料館
（京都市中京区）
協力者：島津製作所



X線装置「ダイアナ号」で撮影した 胸部写真

撮影地：島津製作所 創業記念資料館
（京都市中京区）
協力者：島津製作所

じゅんおんはいけい

巡音拝景

京都府の今の音と、文献などに記述された音をあつめ、
そこに新たな音を配置(Composition=作曲)して制作する。

1996年に環境省(当時環境庁)は「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境(音風景)を広く公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められるもの」として「残したい“日本の音風景100選”」を選定した。それから約30年が経ち、改めて京都府の音を取り上げる。温暖化が加速し、四季が失われつつある現代において山や森林など木々は大変重要で貴重なものである。京都府には豊かな自然があり、美しい音が存在している。自然がこれからも失われないことを祈りながらフィールドレコーディングをした。前述の「音風景100選」で取り上げられたものに加え、新録している。

さらに文学の中にも多くの音の記述がある。録音技術が生まれる以前には古来から人々はことばを使って音を集めた。こういった音を集めることもフィールドレコーディングである。

フィールドレコーディングリスト

Part-1 るり溪(南丹市) 船着場(伊根町) 舞鶴港(舞鶴市) 宮津湾(宮津市) 石清水八幡宮(八幡市)

Part-2 京都御所玉砂利(京都市) 清水寺(京都市) 鹿(京都市) 大江山(福知山市) ちりめん街道 天満神社(与謝野町)

Part-3 琴引浜(京丹後市) 琴滝(京丹波町) 宇治川(宇治市) 真福寺水琴窟(亀岡市) 妙心寺(退蔵院) 水琴窟(京都市)

Part-4 綾部大橋由良川(綾部市) 美濃山竹林(八幡市) 興聖寺(宇治市) 古世親水公園(亀岡市) 詩仙堂鹿おどし(京都市)

御香宮神社(京都市) 雷雨(京都市)

記述されたものからのフィールドレコーディングリスト

大原『平家物語』 鐘の音、鹿の音、虫の音

野宮『源氏物語』 虫の音、松風の音、雅楽の楽器の音

宇治『万葉集』 宇治川にして作る歌二首 1699-1700 雁の鳴き声、川の音

法成寺『栄花物語』 卷第十七「おむがく」 雅楽の演奏音

丹後『丹後国風土記』 逸文 嘆く声、歌

福知山『大江山絵詞』 雷、田楽

石清水八幡宮 世阿弥 能『弓八幡』、『放生川』 不思議な音楽、夜神楽の音

法勝寺『弁内侍日記』 後戸猿楽、鈴の音

谷崎潤一郎 潺湲亭「夢の浮橋」 添水(しおどし)の音

琴弾浜 木内石亭『雲根志』 海辺の砂浜の音

『蜻蛉日記』 車の音

『洛陽田楽記』 永長の大田楽

作・編曲:原 摩利彦

ギター:Polar M

フィールドレコーディング協力:村中真澄

リサーチ協力:原 瑠璃彦

音響デザイン:中原楽(KARABINER inc.)

株式会社 大城音響事務所

制作:MH Studio Inc. / TSUYURI

空間デザイン協力	Space design cooperation
Sandwich	Sandwich
京瓦タイル「キモノタイル」製作協力	Kyoto tile "Kimono tile" production cooperation
株式会社京瓦 浅田製瓦工場	ASADA KAWARA FACTORY
テーマ映像制作	Theme video production
株式会社 青空	AOZORA,LTD
テーマ音楽制作	Theme music production
原 摩利彦	Marihiko Hara

大阪・関西万博きょうと推進委員会